



取手第二中学校 学校だより

令和8年5月7日発行

文責 校長 丸山 信彦



学校HP

【組織目標】 「考え・動き・つながる」共に学びと感動のある学校づくり

笑顔輝く! ハートとアートで紡ぐ全員主役の学校づくり

新しい年度がスタートし、あっという間に1カ月が過ぎました。毎朝、校門付近で交わす子どもたちの明るいあいさつに、私自身もたくさんの力をもらっています。本年度の取手二中は、保護者や地域の皆様の温かいご支援のおかげで、順調な新学期のスタートを切ることができ、心より感謝申し上げます。

取手二中に吹く新しい風として、少しずつ「種まき」を始めているところですが、何よりも大切にしたいのは、子どもたちが安心して笑顔で過ごせることです。今月号では、子どもたちの主体的な姿や、学校と家庭との連携についてお伝えさせていただきます。

■ リーダー研修会:誰もが輝く「全員が主役」の学校へ ■



先日のリーダー研修会では、生徒会役員や学級委員が一堂に会し、「私たちの学校をどう創り上げるか」を熱く語り合いました。誰かに指示されるのを待つのではなく、自ら課題を見つけ、解決のために動こうとする姿は、まさに本校が大切にしている「主体性」の現れです。

また、学級代表の認証で私が伝えたのは、リーダーの活躍を支える「グッドフォロワー」の大切さです。一人の強いリーダーシップだけでなく、周囲が目的を共有し、共に歩む力があってこそ、組織は本物の熱量をもちます。前に立って導く人も、その背中を支える人も、「全員が主役」です。互いの役割を尊重し、全員が当事者として

学校づくりに関わっていく。そんな自由な発想と、仲間を思いやる心があふれる学校を、子どもたちと共に創り上げたいと考えています。未来を切り拓こうとする挑戦を、教職員も一丸となって支えてまいります。

■ ハートとアートの種まき ■

私が経営の柱に掲げる「ハートとアート」は、取手市の指導方針「ハートとアートで子どもたちの未来を拓く学校教育」を教育の根幹に据えたものです。

「全員が主役」という言葉もこの方針に基づいています。「ハート」とは、リーダーの挑戦に「いいね」「一緒にやろう」と寄り添う心。この温かな支えこそ、組織を動かす「グッドフォロワー」の力です。一人のリーダーでは成し遂げられないことも、認め合う心があれば大きな熱量に変わります。また「アート」とは、自分らしさを表す自由な発想。正解のない表現を大切にすることが、課題解決に向かう主体性の源泉となります。

学校は正解をなぞる場ではありません。一人ひとりがもつ種を育み、自分らしい花を咲かせる場所でありたい。既存の枠組みにとらわれず、子どもたちの未来を最優先した学校づくりに挑戦してまいります。

■ 授業参観・引き渡し訓練:共に育むパートナーとして ■

4月の授業参観には、驚くほど多くの保護者の皆様にご来校いただきました。新しくなった本校への期待の表れと感じ、身の引き締まる思いです。学年懇談会も会場が満員となり、まさに「うれしい悲鳴」の一日でした。また、引き渡し訓練も大変スムーズに行うことができました。特に、徒歩でのご来校にご協力いただいたことに深く感謝いたします。今後とも、子どもたちのために家庭と学校で手を取り合ってまいりましょう。



■ 5月 自分のペースを大切に ■

新しい環境で一カ月が過ぎ、五月は知らず知らずのうちに疲れがたまりやすい時期です。連休明けは特に、心身のバランスを崩しがちです。ご家庭でも、子どもたちの小さな変化に寄り添い、十分な睡眠と休養を大切にしてください。何事も体が資本です。子どもたちも、そして保護者の皆様も、無理をせず自分なりのペースを整えていきましょう。

元気に登校してくる姿を、明日も楽しみに待っています。